

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	市有林等環境整備事業			事業コード	2838
所属コード	142000	課等名	農林部林政課	係名	森林管理係
課長名	高橋山雄	担当者名	高橋宏樹	内線番号	6055
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産基盤の整備	コード	2
予算費目名	一般会計 6 款 2 項 2 目 市有林等環境整備事業			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	21 年度	
根拠法令等				

### (2) 事務事業の概要

非正規労働者、中高年齢者等の一時的な雇用・就業機会の創出などのために県が基金を創設し、これを財源として行われる緊急雇用創出事業により、市有林、市行造林、森林公園及び林道の環境保全のための作業を、盛岡市森林組合への委託により行うものである。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 21 年度に開始された国の雇用対策事業である。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 24 年度は実施しない。平成 25 年度以降は不確定である。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

- ・非正規労働者・中高年齢者の失業者
- ・公有林の経営面積
- ・林道の維持管理延長

### (2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
A 新規雇用者数	人	7	8	8	8	—

B 公有林経営面積	ha	2802	2802	2802	2802	—
C 林道維持管理延長	m					—

### (3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ・非正規労働者・中高年の失業者の雇用。
- ・市有林、森林公園及び林道等における刈払い、側溝浚渫作業等の実施

### (4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 新規雇用者数	人	7	8	8	8	—
B 公有林経営面積	ha	2802	2802	2802	2802	—
C 林道維持管理延長	m	17303	17313	17313	17313	—

### (5) 意図（対象をどのように変えるのか）

- ・失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供することにより、これらの者の生活の安定を図る。
- ・市有林、市行造林及び森林公園の作業道、歩道、境界等の刈払い等を行うことにより、管理の効率を高め適正な管理を行う。
- ・林道を良好な状態に保ち、降雨等の災害の防止に効果を発揮する。

### (6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 新規雇用者数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	人	7	8	8	8	—
B 公有林経営面積	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	ha	2802	2802	2802	2802	—
C 林道維持管理延長	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	m	170313	170313	170313	170313	—

### (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	6,563	5,030	5,299	5,271
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0

人件費	⑥延べ業務時間数	時間	160	160	160	160
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	640	640	640	640
計	トータルコスト A+B	千円	7,203	5,670	5,939	5,911
備考						

### 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

#### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

##### ① 施策体系との整合性

政策体系に結びついている。

(理由)

新規雇用の創出に資するとともに、市有林や林道等の環境整備を実施することにより、農林基盤の整備が図られる。

##### ② 市の関与の妥当性

妥当である。

(理由)

雇用対策及び市が管理する市有林や林道等の管理は、市が自ら行うべきである。

##### ③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

(理由)

採択要件を満たすものについて、実施しているので妥当である。

##### ④ 廃止・休止の影響

影響がある。

(理由)

失業者の雇用機会が減ることと、市有林等の管理に影響を与える。

#### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上の余地がない。

(理由)

実地要領に基づき、採択要件を満たすものについて事業実施している。

#### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者はいない。

#### (4) 効率性評価

雇用の機会の確保、失業者の生活の安定を図ること及び最低限の人件費で行っていることから人件費・事業費とも削減はできない。

### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

#### (1) 改革改善の方向性

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

## 5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

貴重な事業として活用し、市有林等の良好な環境整備に努めたが、企業立地雇用課の事業が終了したため、今後、そのレベルがダウンし、悪影響を与えると思われるが、工夫しながら出来るだけその影響を小さくしたい。また、同様な事業を実施できそうな別事業が提示され場合は、見逃さないよう努める。